プログラム 11 月 15 日（日）

第 1 会場　5F エミネンスホール

9:10～11:10　スポンサードシンポジウム 2【2 型炎症からひも解くアトピー性皮膚炎】

座長：山口 由衣（横浜市立大）
多田 弥生（帝京大）
片桐 一元（獨協医大埼玉医療センター）

SSY2-1　アトピー性皮膚炎における IL-4/IL-13 シグナルと 2 型自然リンパ球（ILC2）の病態形成への関与
小林 哲郎（理化学研究所生命医科学研究センター）

SSY2-2　免疫機構から考えるアトピー性皮膚炎の病態と治療戦略
渡邉 玲（順天堂大）

SSY2-3　“標準治療”から最適治療へ～我々は何を診てきたのか？～
上出 良一（ひふのクリニック人形町　東京都中央区/東京慈恵会医大）

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

11:30～12:30　ランチョンセミナー 8【ダウンタイムは我慢して当たり前？】

座長：川島 眞（東京女子医大名誉教授）

LS8-1　美容医療におけるダウンタイムマネジメント―治療効果と患者満足度を両立するには―
小林 美幸（聖心美容クリニック熱海院）

LS8-2　ダウンタイムマネジメントもエビデンスに基づく時代へ
川島 裕平（東京都済生会中央病院）

共催：クレシオ株式会社

12:50～14:50　シンポジウム 6【進化する皮膚悪性腫瘍薬物療法：現在地とこれから】

座長：船越 建（慶應義塾大）
延山 嘉眞（東京慈恵会医大）

SY6-1　上皮系皮膚悪性腫瘍における薬物治療選択
吉野 公二（がん研究会有明病院）

SY6-2　メラノーマに対する薬物療法の現在地とこれから
猪爪 隆史（千葉大）

座長：並川 健二郎（国立がん研究センター中央病院）
田中 勝（杏林大）

SY6-3　血管肉腫薬物療法はどこまで進歩したのか―現在と未来
増澤 真実子（北里大）

SY6-4　皮膚リンパ腫診療の現状と未来像
菅谷 誠（国際医療福祉大）

14:50～15:00　閉会式・次期会長挨拶

第２会場　5F コンコードボールルーム C

8:00～9:00　モーニングセミナー１【未来がひろがる乾癬治療を。】

座長：奥山 隆平（信州大）
森田 明理（名古屋市立大）

MS1-1　全身性炎症疾患（PsD）としての乾癬診療とソーティクツの治療ポジション
渡邉 裕子（横浜市立大）

MS1-2　乾癬性関節炎へ新たな治療戦略～デュークラバシチニブへの期待～
岸本 暢将（杏林大腎臓・リウマチ膠原病内科）

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

9:10～10:10　特別講演２

座長：伊藤 宗成（伊藤医院）

SL2　オリジナリティのある医学研究を目指して：バイオセラピーを例に
嘉糠 洋陸（東京慈恵会医大熱帯医学）

10:20～11:20　特別講演３

座長：朝比奈 昭彦（東京慈恵会医大）

SL3　日本の科学、医療の発展のために
島田 眞路（山梨大名誉教授）

11:30～12:30　ランチョンセミナー９【外用薬の選び方】

座長：渡邉 玲（順天堂大）
五十嵐 敦之（いがらし皮膚科東五反田）

LS9-1　軟膏ばかり選んでいませんか？―剤形には意味がある―
大谷 道輝（阿伎留医療センター薬剤部）

LS9-2　乾癬の治療実態から考える外用療法の重要性
伊藤 寿啓（東京慈恵会医大西部医療センター）

共催：レオ ファーマ株式会社

12:40～13:40　教育講演 16【蕁麻疹系疾患診療の極意】

座長：端本 宇志（防衛医大）
倉田 麻衣子（杏林大）

EL16-1　蕁麻疹・血管性浮腫診療アップデート
葉山 惟大（日本大）

EL16-2　自己炎症が関わる蕁麻疹関連疾患
神戸 直智（兵庫医大）

13:50～14:50　教育講演 17【非アブレーションレーザー治療の極意】

座長：尾見 徳弥（クイーンズスクエアメディカルセンター）
鑑 慎司（関東中央病院）

EL17-1　非アブレーションレーザー治療の極意；効果を高め、安全性を担保するために
須賀 康（順天堂大浦安病院）

EL17-2　血管奇形・血管腫に対する色素レーザー治療
岸 晶子（虎の門病院）

第 3 会場　5F コンコードボールルーム B

8:00～9:00　モーニングセミナー 2
【皮疹表現型から“見えない病態・疾病負荷”を読み解く
アトピー性皮膚炎の治療戦略】

座長：石氏 陽三（東京慈恵会医大）
江藤 隆史（あたご皮フ科）

MS2-1　皮疹表現型と掻破から考えるアトピー性皮膚炎病態の多様性
―疾病負荷を踏まえた治療戦略―
川崎 洋（慶應義塾大）

MS2-2　かゆみ・掻破を見逃さないアトピー性皮膚炎診療
～外用療法の評価から全身療法まで～
大塚 篤司（近畿大）

共催：マルホ株式会社

9:10～10:10　共通講習 3【感染対策（必修 A）】

座長：川瀬 正昭（東京慈恵会医大葛飾医療センター）

共通 3　標準予防策と感染経路別予防策の実際
堀野 哲也（東京慈恵会医大感染症内科）

10:20～11:20　教育講演 11【エビデンスの創出と理解に必須！医学統計学と AI】

座長：足立 剛也（埼玉医大総合医療センター）
田中 勝（杏林大）

EL11-1　エビデンスの創出と理解における疫学と統計学～臨床研究に必要な基礎知識
須賀 万智（東京慈恵会医大環境保健医学）

EL11-2　エビデンスの創出と理解を加速する近年の AI 技術の進歩
大塚 篤司（近畿大）

11:30～12:30　ランチョンセミナー 10【乾癬治療における IL17A/F 阻害の意義】

座長：梅澤 慶紀（東京慈恵会医大）
佐伯 秀久（日本医大）

LS10-1　乾癬の実臨床における早期スキンクリアランス達成の意義
井波 真矢子（NTT 東日本関東病院）

LS10-2　乾癬治療における包括的なアプローチと IL17A/F 阻害薬の役割
橋本 由起（東邦大）

共催：ユーシービージャパン株式会社

12:40～13:40　教育講演 18【皮膚常在菌と dysbiosis】

座長：林 伸和（虎の門病院）
小宮根 真弓（自治医大）

EL18-1　皮膚の常在微生物とその役割を「目で見たように」理解する
出来尾 格（東京慈恵会医大）

EL18-2　皮膚のマイクロバイオームを起点とする炎症性疾患と宿主免疫
永尾 圭介（慶應義塾大）

第４会場　5F コンコードボールルーム A

8:00～9:00　モーニングセミナー３【円形脱毛症患者さんの広がる治療選択肢 ～リットフーロによる治療タイミング～】

座長：小野田 雅仁（おのだ皮膚科）
原田 和俊（東京医大）

MS3-1　円形脱毛症診療の新時代―リットフーロの作用機序と治療戦略―
髙橋 岳浩（東北大ヘルススパン研究センター/東北大病院）

MS3-2　円形脱毛症の診断と治療～新潟大学におけるリットフーロの使用法～
林 良太（新潟大）

共催：ファイザー株式会社

9:10～11:10　シンポジウム５【皮膚外科のプロフェッショナルを目指そう】

座長：大原 國章（赤坂虎の門クリニック）
長谷川 敏男（順天堂大静岡病院）

SY5-1　植皮―簡便な手技と注意点―
脇 裕磨（東京慈恵会医大柏病院）

SY5-2　局所皮弁
帆足 俊彦（日本医大）

SY5-3　まずは鼠径から―皮膚外科医を目指すリンパ節郭清入門―
前川 武雄（自治医大さいたま医療センター）

SY5-4　静脈瘤の治療―血管内治療を中心に―
田中 隆光（帝京大）

11:30～12:30　ランチョンセミナー 11【皮膚へのスキンケアアプローチ～保湿ケアの再定義～】

座長：青山 裕美（川崎医大）

LS11-1　酒皶診療における薬物療法とスキンケア指導の実際―保湿化粧品の活用を含めて
林 宏明（はやし皮ふ科クリニック　兵庫県神戸市）

LS11-2　治療だけで終わらないアトピー性皮膚炎～保湿剤が支える皮膚バリア機能～
谷崎 英昭（関西医大）

共催：グラファラボラトリーズ株式会社

12:40～13:40　専門医制度講習会（指導医講習会も含む）

座長：今福 信一（福岡大）
山口 由衣（横浜市立大）

専門 1　専門医制度・専攻医専門医の動向について
今福 信一（福岡大）

専門 2　知っておきたい専門医受験と更新の注意点 2026
山口 由衣（横浜市立大）

第 5 会場　4F 花 A

8:00～9:00　モーニングセミナー 4
【レーザー治療・初中級編：Energy-Based Devices を用いた皮膚疾患に対するアプローチ方法】

座長：須賀 康（順天堂大浦安病院）

MS4-1　ルビーレーザーによる色素性疾患治療：基礎理論と臨床の実際
尾崎 紗恵子（日本医大）

MS4-2　炭酸ガスレーザーによる皮膚病変の治療
菊地 克子（仙台たいはく皮膚科クリニック　宮城県仙台市）

共催：株式会社ジェイメック

9:10～10:10　教育講演 12【髪と爪は皮膚科医が診る！】

座長：天羽 康之（北里大）
野村 有子（野村皮膚科医院）

EL12-1　皮膚科医が髪を診るために必要な毛の基礎知識
下村 裕（山口大）

EL12-2　喜ばれる爪診療のコツ
齋藤 昌孝（麻布台クリニック　東京都港区）

10:20～11:20　教育講演 13【遺伝性角化症診断の進歩を知る】

座長：秋山 真志（名古屋大名誉教授/新百合ヶ丘総合病院）
堺 則康（東京医大）

EL13-1　魚鱗癬診断の進歩を知る
乃村 俊史（筑波大）

EL13-2　患者の困りごとを解決する研究と治療：遺伝性角化症にできること
久保 亮治（神戸大）

11:30～12:30 ランチョンセミナー 12

座長：門野 岳史（聖マリアンナ医大）

LS12 伝染性軟属腫 Up to Date―最新治療薬ワイキャンス®を使いこなす―
三石 剛（日本赤十字社さいたま赤十字病院）

共催：鳥居薬品株式会社

13:50～14:50 特別企画【中川先生と語らう午後】

座長：江藤 隆史（あたご皮フ科）
梅澤 慶紀（東京慈恵会医大）

SP ―皮膚科 49 年を振り返って―
中川 秀己（東京慈恵会医大名誉教授/あたご皮フ科）

第 6 会場 4F 錦

8:00～9:00 モーニングセミナー 5
【リスキリング：爪白癬～新ガイドラインから学び直す内服薬治療～】

座長：永尾 圭介（慶應義塾大）

MS5-1 爪の代表的な 3 つの疾患の診療ポイント
齋藤 昌孝（麻布台クリニック　東京都港区）

MS5-2 現場の疑問を解決してネイリンを使いこなそう
仲 弥（仲皮フ科クリニック　埼玉県川越市）

共催：佐藤製薬株式会社

9:10～10:10 教育講演 14【アレルギーは身近に潜む】

座長：佐藤 貴浩（防衛医大名誉教授）
中田 土起丈（昭和医大藤が丘病院）

EL14-1 身近に潜む I 型アレルギーに対するアプローチ法
猪又 直子（昭和医大）

EL14-2 日常診療における IV 型アレルギーへのアプローチ―アレルギー性接触皮膚炎を疑ったら？
伊藤 明子（ながたクリニック　新潟県新潟市/新潟大/藤田医大総合アレルギー科）

10:20～11:20 教育講演 15【自己免疫性水疱症診療の最前線】

座長：山上 淳（東京女子医大）

EL15-1 自己免疫性水疱症の病態
古賀 浩嗣（久留米大）

EL15-2　自己免疫性水疱症の臨床：診断治療のアップデート
石井 健（国際医療福祉大市川総合病院）

11:30～12:30　ランチョンセミナー 13
【「見逃し」と「離脱」をなくす。酒さとざ瘡の治療を 1 歩すすめる実践知】

座長：山﨑 研志（ALOOP CLINIC & LAB）
山﨑 修（島根大）

LS13-1　見逃さない、迷わない酒さ診療―診断のコツと治療選択―
角田 加奈子（岩手医大）

LS13-2　尋常性ざ瘡治療の初期戦略を再考する～「塗る」と「洗う」で変える治療継続～
小林 美和（こばやし皮膚科クリニック　福岡県北九州市）

共催：マルホ株式会社

第 7 会場　4F 扇

8:00～9:00　モーニングセミナー 6
【乾癬における IL-17A Single Cytokine の意義を考える】

座長：小林 香映（東京慈恵会医大）
安部 正敏（札幌皮膚科クリニック）

MS6-1　IL-17A を軸とした乾癬の病態理解と治療戦略 ～Single Cytokine 阻害の価値～
益田 浩司（京都府立医大）

MS6-2　乾癬治療におけるトルツの使いどころ
百瀬 まみ（東京慈恵会医大）

共催：日本イーライリリー株式会社

9:10～10:15　一般演題 15【感染症（細菌、真菌、ウイルス）①】

座長：松尾 光馬（中野皮膚科クリニック）
鈴木 大介（相模原病院）

96　2 型らい反応に対してサリドマイド投与中にもやもや病を発症したハンセン病患者の 1 例
高橋 帆乃香[1]、三上 万理子[1,2]、竹中 祐子[1]、鈴木 瑞穂[1]、今本 聡美[1]、船津 尭之[3]、山口 浩司[3]、石井 則久[4]、山上 淳[1]
[1]東京女子医大、[2]横浜西口菅原皮膚科　神奈川県横浜市、[3]東京女子医大脳神経外科、[4]国立療養所多磨全生園

97　*Mycobacterium fortuitum* を主病原体と考えた右上腕皮膚非結核性抗酸菌症の 1 例
宋 基旦、雷 小峰、古谷 祐介、和泉 光晃、小林 香映、猪又 直子
昭和医大

98 旭川厚生病院皮膚科で経験したマダニ媒介感染症の３例
橋本 喜夫、松本 洸、野口 藍子、小松 成綱
旭川厚生病院

99 家族内発症の日本紅斑熱４例
小野寺 瑠美子、生玉 梨紗、長谷川 敏男
順天堂大静岡病院

100 治療に難渋したHIV感染症合併の尖圭コンジローマの１例
宇藤 優[1,2]、矢野 大輔[1,2]、島村 明里[1,3]、石山 春菜[1]、米山 寿子[1]、三石 剛[1]
[1]さいたま赤十字病院、[2]順天堂大浦安病院、[3]獨協医大埼玉医療センター

101 伝染性軟属腫の診療実態と治療ニーズに関する医師アンケート調査研究～治療実態と薬剤ニーズ～
渡辺 大輔[1]、島宮 麻紀子[2]、北島 裕之[2]
[1]愛知医大、[2]鳥居薬品株式会社メディカルアフェアーズ部

102 伝染性軟属腫の診療実態と治療ニーズに関する患者（保護者）アンケート調査研究～受療行動及び治療への期待～
島宮 麻紀子[1]、北島 裕之[1]、渡辺 大輔[2]
[1]鳥居薬品株式会社メディカルアフェアーズ部、[2]愛知医大

10:15～11:10 一般演題16【感染症（細菌、真菌、ウイルス）②】

座長：五十棲 健（東京警察病院）
沢田 泰之（東京都立墨東病院）

103 マイコプラズマ関連粘膜炎の１例
柴山 理紗[1]、長田 宏巳[2]、出光 俊郎[1]
[1]上尾中央総合病院、[2]上尾中央総合病院病理診断科

104 *Candida Guilliermondii* による深在性真菌症の１例
佐野 遼平[1,2]、吉岡 華子[1]、守田 昂平[1]、佐藤 祥奈[1]、金武 敬人[1]、横井 一範[1]、中原 航[2]、草壁 信輔[2]、藤本 学[1]
[1]大阪大、[2]大阪大血液内科

105 関節リウマチに対しトシリズマブ投与中に生じた臀部ガス壊疽の症例
干川 款士、帆足 俊彦、米山 菜穂子、大谷 咲貴、尾崎 紗恵子、佐伯 秀久
日本医大

106 アダリムマブ投与中に生じたLemierre症候群の１例
龍野 暁世[1]、平井 由児[2]、梅林 芳弘[1]
[1]東京医大八王子医療センター、[2]同感染症科

107 特異な受傷機転により上腕に発症した *fusobacterium necrophorum* による壊死性筋膜炎
向井 春香、崔 灵壽、井上 愛理、笹岡 佑輔、池田 彩、爲政 大幾
医誠会国際総合病院

108　皮膚常在菌に対するホホバオイルの抗菌作用
吉原 昂洋、瀬山 翔史、中南 秀将
東京薬科大臨床微生物

11:30～12:30　ランチョンセミナー 14

座長：伊東 秀記（立川皮膚科クリニック）

LS14　Dermal Reset×Photoacoustic Targeting による色素性疾患治療の再構築
―パルス発振式 Needle RF と 785 nm ピコ秒レーザーの統合的アプローチ―
伊東 秀記（立川皮膚科クリニック　東京都立川市）

共催：マーベラスビューティージャパン株式会社

12:40～13:45　一般演題 17【乾癬、膿疱症①】

座長：松山 孝（東海大八王子病院）
梅垣 知子（東京女子医大足立医療センター）

109　急性冠症候群を合併した膿疱性乾癬の 1 例
岩佐 凌依、山本 美玲、松原 真生、須長 幸嗣、高橋 栞奈、山下 大樹、田中 朗、河合 良奈、横山 恵美、須山 孝雪、片桐 一元、林 周次郎
獨協医大埼玉医療センター

110　グセルクマブ治療中のモニタリングで胸部下行大動脈瘤が偶然発見された尋常性乾癬の 1 例
野村 千晴、宮垣 朝光、大庭 慎也、呉 暄、門野 岳史、渡部 秀憲
聖マリアンナ医大

111　腎細胞癌に対するニボルマブ投与中の尋常性乾癬にグセルクマブを使用した 1 例
金 美娟、礒永 佳祐、岸本 恵美、梅本 尚可、鷲野 聡、前川 武雄
自治医大さいたま医療センター

112　再発性環状紅斑様乾癬の 1 例
田畑 成美、生玉 梨紗、大下 将弘、長谷川 敏男
順天堂大

113　リサンキズマブが有効であった再発性環状紅斑様乾癬の 1 例
奥田 莉奈、栗田 昂幸、橋本 由起、石河 晃、種瀬 啓士
東邦大

114　リサンキズマブが著効したアロポー稽留性肢端皮膚炎の 1 例
大道寺 澪、角田 加奈子、三浦 慎平、渡辺 彩乃、渡部 大輔、天野 博雄
岩手医大

115　デュピルマブ投与中に発症した急性汎発性発疹性膿疱症
今井 みちる、岡田 悦子
NHO高崎総合医療センター

13:45～14:40　一般演題 18【乾癬、膿疱症②】

座長：小林 里実（聖母病院）
三井 浩（東京逓信病院）

116　尋常性乾癬に対するウステキヌマブ BS の安全性および有効性の検討・中間報告
森田 明理[1,2]
[1]名古屋市立大、[2]名古屋市立大西部医療センター

117　中等症～重症乾癬患者におけるイキセキズマブの早期 Treat-to-Target 達成と維持：UNCOVER-3 事後解析
望月 潔隆[1]、A. Armstrong[2]、J. Merola[3]、M. Megna[4]、X. Man[5]、本間 大[6]、J.M. Carrascosa[7]、R. Chughtai[1]、K. Fotiou[1]、S. Sabatino[1]、M. Ngantcha[1]、A. Pinter[8]
[1]Lilly、[2]UCLA、[3]UT Southwestern Med Ctr、[4]U Naples Federico II、[5]Zhejiang U、[6]旭川医大、[7]U Autonoma Barcelona、[8]U Hosp Frankfurt

118　非結核性抗酸菌症との鑑別に苦慮し、アダリムマブが著効した壊疽性膿皮症の 1 例
長久 大介[1]、梅本 尚可[1]、長嶋 孝夫[2]、武内 直生[3]、前川 武雄[1]
[1]自治医大さいたま医療センター、[2]自治医大さいたま医療センターリウマチ膠原病科、[3]東京慈恵会医大

119　潰瘍性大腸炎を合併する壊疽性膿皮症にウパダシチニブが著効した 1 例
濱端 明海[1,2]、天野 博雄[2]
[1]岩手県立中部病院、[2]岩手医大

120　膿疱性乾癬との鑑別を要した発熱と皮疹を反復する家族性地中海熱の 1 例
野口 直杜[1]、小笠原 理香[1]、廣田 一貴[1]、国定 充[1]、小松 正人[2]、田渕 光太[3]、多田 祥子[4]
[1]兵庫県立はりま姫路総合医療センター、
[2]兵庫県立はりま姫路総合医療センター病理診断科、
[3]兵庫県立はりま姫路総合医療センター消化器内科、
[4]みこ皮膚科クリニック　兵庫県姫路市

121　紫外線療法が奏効した背部線状扁平苔癬の 1 例
須賀 望、金子 高英、髙森 建二、須賀 康
順天堂大浦安病院

第 8 会場　3F グレース

8:00～9:00　モーニングセミナー 7【低温大気圧プラズマによる皮膚疾患治療】

座長：伊東 秀記（立川皮膚科クリニック）

MS7-1　低温大気圧プラズマ（デュアルプラズマシステム）が切り拓く美容医療の新世界
伊東 秀記（立川皮膚科クリニック　東京都立川市）

MS7-2　低温大気圧プラズマ（CAP）療法の皮膚疾患での展望
山﨑 研志（ALOOP CLINIC & LAB　東京都中央区）

MS7-3　赤み治療を再考する―酒さ・ざ瘡に対する低温大気圧プラズマ（CAP）の可能性―
石田 和加（わか皮ふ科クリニック　新潟県上越市）

共催：株式会社 ZENN

9:10～10:15　一般演題 19【間葉系腫瘍①】

座長：西澤 綾（都立駒込病院）
中捨 克輝（埼玉病院）

122　左下腹部に発生した Hybrid nerve sheath tumor の 1 例
小倉 さくら[1]、盛田 紘有[1]、伊藤 一真[1]、山本 史徳[1]、松崎 友里江[1]、宏洲 あさひ[1]、岩澤 億斗[1]、森 瞳子[1]、大熊 香織[1]、尾松 淳[1]、宮川 卓也[1]、辻本 敬之[2]、深川 彰彦[2]、柴田 彩[1]
[1]東京大、[2]東京大病理部

123　CO2 レーザーを用いた手指粘液嚢腫 20 症例の経験
倉富 英治
なの花皮膚科・形成外科　千葉県柏市

124　当科で経験した隆起性皮膚線維性肉腫 8 例の検討
鈴木 結梨佳、陣内 駿一、石井 徹、小竹 久美子、宮崎 朗、高橋 聡
国立がん研究センター東病院

125　明らかな誘因なく下腿に発症した血管肉腫の 1 例
盛岡 拓哉[1]、岩下 宣彦[1]、河村 泰熙[1]、戸田 裕一[2]、阿部 倫大[3]、渡辺 大輔[1]
[1]愛知医大、[2]総合大雄会病院、[3]多治見市民病院

126　異型線維性組織球腫として治療されるも再発を繰り返し、拡大切除後に粘液線維肉腫と診断した 1 例
奥山 奈津子[1]、井上 禎夫[1]、宋 基旦[1]、長谷川 絢哉[1]、碇 真雄[1]、阿部 夏実[1]、小森 崇矢[1]、高井 彩也華[1]、後藤 啓介[2]、中村 泰大[1]
[1]埼玉医大国際医療センター、[2]埼玉医大国際医療センター病理診断科

127　多形皮膚萎縮が目立った菌状息肉症の 1 例
鈴木 彩香、吉田 憲司、石河 晃、種瀬 啓士
東邦大

128　重度特発性間質性肺炎を合併した菌状息肉症に対し照射方法を工夫して治療した 1 例
山下 愛生[1]、上川 理聖[1]、正木 太朗[3]、須田 香菜子[2]、宮脇 大輔[2]、佐々木 良平[2]、小野 竜輔[1]、久保 亮治[1]
[1]神戸大、[2]神戸大放射線腫瘍科、[3]まさき皮フ科クリニック　兵庫県神戸市

10:15～11:10　一般演題 20【間葉系腫瘍②】

座長：岩澤 うつぎ（東京都立広尾病院）
濱田 利久（国際医療福祉大成田病院）

129　東北大学皮膚科で加療した菌状息肉症腫瘤期の 14 例
小林 愛里、藤村 卓、山崎 絵美、渡邉 愛美、瀬川 康二朗、瀬川 雄一朗、
武藤 雄介、玉渕 恵里佳、神林 由美、浅野 善英
東北大

130　潰瘍形成部が生検後に自然消退したが後に肺転移が出現した、大細胞転化を伴う皮膚 T 細胞リンパ腫と考えた 1 例
石塚 友記子、奥野 聡、深谷 薫子、板垣 翔大、吉田 愛、吉留 佳代、端本 宇志
防衛医大

131　全身に多発する皮下結節を形成した nodal T-follicular helper cell lymphoma
坪井 智史[1]、前 賢一郎[1]、深浦 彰子[1]、赤羽 大吾[2]、原田 和俊[1]
[1]東京医大、[2]東京医大血液内科

132　トシリズマブ投与中に発症した subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma（SPTCL）の 1 例
山本 博紀[1]、河瀬 ゆり子[1]、平松 佑一[1]、増田 渉[2]、長尾 俊景[3]
[1]同愛記念病院、[2]同愛記念病院病理診断科、[3]同愛記念病院血液内科

133　若年発症した皮膚原発 γδT 細胞リンパ腫の 1 例
前迫 嵩人[1]、馬屋原 孝恒[1]、中原 由紀子[1]、西村 広健[2]、塩見 達志[2]、福田 寛文[3]、
青山 裕美[1]
[1]川崎医大、[2]川崎医大病理学、[3]川崎医大血液内科

134　多発する皮下腫瘤を契機に診断した慢性骨髄性白血病の 1 例
藤城 光希[1]、末綱 鈴佳[1]、安田 健一[1]、伊藤 寿啓[1]、川島 雅晴[2]、齋藤 健[2]
[1]東京慈恵会医大西部医療センター、[2]同腫瘍血液内科

11:30～12:30　ランチョンセミナー 15【原発性手掌多汗症の治療継続を支える服薬指導の工夫】

座長：藤本 智子（池袋西口ふくろう皮膚科クリニック）

LS15-1　原発性手掌多汗症に対するアポハイドローションを起点とした治療戦略―服薬指導の工夫と外科的治療への橋渡し―
浮田 慎（千葉船橋痛みと多汗症クリニック　千葉県船橋市）

LS15-2　アポハイドローション、こんな感じで使っています
里見 久恵（さとみ皮膚科クリニック　千葉県成田市）

共催：久光製薬株式会社

12:40〜13:40　一般演題 21【治療、その他】

座長：蒲原 毅（横浜市立市民病院）
栗野 嘉弘（帝京大溝口病院）

135　悪性腫瘍との鑑別を要し、脳腫瘍を契機に発症したと考えられた Trigeminal trophic syndrome の 1 例
小野寺 潤一、豊島 進、渡辺 絵美子
済生会横浜市東部病院

136　アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法で発症した後天性反応性穿孔性膠原線維症の 1 例
畑 貴之[1,2]、藤村 卓[1]、浅野 善英[1]
[1]東北大、[2]山梨赤十字病院

137　高リスク部位に生じた乳児血管腫に対し併用療法が奏功した 1 例
石山 春菜[1]、宇藤 優[1,2]、矢野 大輔[1,2]、米山 寿子[1]、三石 剛[1]
[1]さいたま赤十字病院、[2]順天堂大浦安病院

138　酒さおよびマラセチア毛包炎に対する Cold Atmospheric Plasma の初期使用経験
工藤 英郎
くどう皮ふ科医院　熊本県熊本市

139　非蒸散型フラクショナルレーザー（NAFL）が有効であった痤瘡後肥厚性瘢痕の 2 例
桃李 英莉[1]、角田 加奈子[1]、渡辺 彩乃[1]、天野 博雄[1]、花田 美穂[2]
[1]岩手医大、[2]六浦皮ふ科　神奈川県横浜市

140　ミノサイクリン塩酸塩が奏功した融合性細網状乳頭腫症の 1 例
山本 陽織、鈴木 琢
横浜総合病院

141　In silico による新規 JAK 阻害戦略の試み
荒金 兆典[1]、荒金 未貴[2]、荒金 布真[3]
[1]のえ皮フ科クリニック　大阪府大阪市、[2]大阪大卒後研修センター、
[3]市立東大阪総合医療センター

HS 会場① 42F 高尾

9:10〜11:10 ハンズオンセミナー４【プリックテスト・パッチテストを身につけよう】

オーガナイザー：矢上 晶子（藤田医大ばんたね病院総合アレルギー科）
伊藤 明子（ながたクリニック　新潟県新潟市）

HS4

タスクフォース：矢上 晶子（藤田医大ばんたね病院総合アレルギー科）
伊藤 明子（ながたクリニック　新潟県新潟市）
鷲崎 久美子（大森町皮ふ科　東京都大田区）
伊藤 崇（東邦大）
沼田 貴史（東京医大、新座志木中央総合病院）
大川 智子（横浜市立大附属市民総合医療センター）
金岡 美和（横浜市立大附属市民総合医療センター）
修了証書授与：金澤 伸雄（日本皮膚免疫アレルギー学会学術委員会委員長・兵庫医大）
（代理授与：矢上 晶子（日本皮膚免疫アレルギー学会））
総括：矢上 晶子（藤田医大ばんたね病院総合アレルギー科）

共催：（一社）日本皮膚免疫アレルギー学会、佐藤製薬株式会社、鳥居薬品株式会社、
株式会社スマートプラクティスジャパン